

【種族】妖怪（さとり）  
【能力】心を読む程度の能力  
【強さ位置】準最強グループ2

## 【設定】

実は今回の地霊殿の中では一番の大物、の筈ですが、戦闘は余り得意ではない様子（地霊殿 曲コメント）

「強い妖怪ほどスッキリしている、大体デザインが」  
「さとりは強いつもりで作ったので（キャラデザ）服装はシンプルにした」

（地霊殿インタビュー）

文評：心の奥底に少しでも恐怖の記憶があると、それがトラウマとなって行動が制限されてしまうらしいのです。いつ爆発するのか怖いですもんね。

文評：写真を撮ろうとしたら心を読んで逃げるのです。だからサトリは嫌なんですよ。こうなったら盗撮しかないじゃないですか。

はたて評：うーん、何も考えないで撮れば気付かれずに撮影できるのかなーと思ったけど、何も考えないって難しいわー。それにしてもサトリの癖にすばっこいねー。

（ダブルスポイラーより）

## 【能力概要】

心を読む。

考えていないことは読めないの、トラウマの記憶を引き出す際には催眠術を先に使用した。（The Grimoire of Marisa）

## 【各種要素をふまえての強さ議論】

旧地獄の怨霊管理を任されている、実力派妖怪。想起が強み。  
さらに、あるスペカと能力の関係から敵の弱点（ないしトラウマ）を的確につける。  
特に妖怪は、肉体よりも精神に弱いと言う設定（求聞史紀）があるので強い。

さらに、能力で敵がどんな攻撃をしてくるかも完璧に判るため  
攻防に使えるチート能力となっている。  
無論、スペカルールがない頃から怨霊管理を任されており  
萃香が旧都にいた時期から恐れられてる能力者でもある。

戦闘は余り得意ではない様子と曲コメントがありながら、インタビューでは強いと称されるよくわからない評価であり（とは言え、別にこの2つは矛盾しないが）  
東方内でも珍しく、主人公側のパートナーキャラ4人から（全部で6人）高評価を受けているキャラでもある